

平成30年度第1回日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会 議事録

日 時 平成30年6月25日（月） 午後1時30分～午後2時45分

場 所 日進市役所4階 第2会議室

出席者 <委員> 田川佳代子、井手宏、山岡林二、浅井考介、土山典子、小林宏子、
丹羽一生、大山英之、藤嶋日出樹、大川彰治、大畑美和子、諏訪正美、
千葉佳代子、山口朝子（敬称略）
<事務局> 真野幸治（健康福祉部長）、小塚多佳子（健康福祉部参事）、
川本賀津三（地域福祉課長）、柏木晶（同主幹）、野村圭一（同係長）、
西澤恵利子（同主査）、桑ヶ谷英紀（同主事）、
杉田武史（介護福祉課長）、三好恵太（同課長補佐）、
鷹見康崇（同係長）

欠席者 2名 加藤利秋、神野建三（敬称略）

傍聴の可否 可

傍聴の有無 無

次 第 1 あいさつ
会長等の選出について

- 2 議事
（1）高齢者福祉・介護保険事業運営協議会について（資料1）
（2）日進市の高齢者福祉の状況について（資料2）
（3）第7期にしん高齢者ゆめプランについて

3 その他

事務局 平成30年度第1回日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会をはじめさせていただきます。本日は2名の委員がご都合により欠席のため、委員16名のうち、14名の方が出席されております。会の成立には半数以上の出席が必要となっており、本日の会議は成立します。
それでは、次第に沿って進めさせていただきます。はじめに、日進市健康福祉部長真野よりごあいさつを申し上げます。

真野部長 (あいさつ)

事務局 今日が委員任期最初の会議になりますので、皆様に自己紹介をお願いしたいと思います。
(委員・事務局の自己紹介)

事務局 それでは、資料の確認をお願いします。
(資料確認)
続きまして、会議の公開についてですが、傍聴の申込みはございませんでした。
それではこれより議事に移りますが、初回会議となりますので、会長が決定されるまでの間、代理として地域福祉課長が会議の進行役を務めさせていただきますのでご了承ください。

事務局 ではまず会長等の選出について、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第3条第2項において、会長は委員の互選により定めることとなっております。立候補またはご推薦はございますか。

委員 会長には、他市での高齢者福祉計画の策定委員の経験もあり、見識がある田川委員を推薦したいと思います。

事務局 田川委員に会長をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

委員 異議なし。

事務局 それでは、会長は田川委員をお願いしたいと思います。副会長につきましては、会長からの指名となっておりますので、会長のご指名をお願いします。

会長 副会長には、実態に詳しく経験も豊富な井手委員をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

委員 異議なし。

事務局 では、副会長は井手委員をお願いしたいと思います。会長・副会長になられましたお二人から一言ずつご挨拶をお願いいたします。

会長 (あいさつ)

副会長 (あいさつ)

事務局 ありがとうございます。それでは、これからの進行については会長をお願いします。

会長 会長の田川です。これからの議事の進行について、皆様ご協力よろしくお願いします。それでは、議事（２）「高齢者福祉・介護保険事業運営協議会について」に入ります。報告は、事務局よりお願いします。

事務局 （資料１を使って説明）
本運営協議会に置かれております２つの部会の委員についてですが、日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会の運営に関する規則第５条第１項の規定により、会長からの指名となっております。お手元の委員名簿により、案をお示ししますので、会長からのご指名をお願いします。

会長 では、お手元にあります委員名簿をご覧ください。２つの部会を、案のとおり、各委員にお願いできればと思います。皆様、いかがでしょうか。

委員 異議なし。

会長 ありがとうございます。事務局の説明で、何かご質問やご意見がございませんか。

委員 協議会のスケジュール案についてですが、今日開催してから次回は２月までないということですが、この間に事務局で第７期にっしん高齢者ゆめプランの評価指標を作っていたかどうか。

事務局 次回の協議会までに７期にっしん高齢者ゆめプランの評価指標を作って示していきたいと考えています。

委員 では、この間の進捗状況はどのように計るのでしょうか。先に評価指標があると、現場はそれをもって実践を評価しながらデータを蓄積していくことができ、２月の時点でデータをもらい、それについて私たちは評価をすることができると思いますが、２月の時点で評価指標が上がってくると、その間は何もしないということになることが懸念されるかどうか。

事務局 遡及して評価していただく部分もありますが、早急に作成したいと思います。

委員 何を評価していくのかということですが、計画の８３、８４ページに載っている評価指標で評価していくのでしょうか。

事務局 こちらのページに掲載してある評価指標に加え、各基本目標ごとに評価指標を新たに作成していきたいと考えております。

委員 評価指標が既に計画に盛り込まれているので、今年度の進捗状況が分かるデータが何らかの形で上がってくると、今年度の進捗状況が分かり良いと思います。３年間あつという間に過ぎてしまうので、できればこのような形で進めていくと良いと思います。

事務局 わかりました。

会長 他にご意見はありますか。

- 委員 課題が見えづらく、評価をするにあたり自分がどういう役割を担っているのかははっきりと教えていただけると助かります。また、どうすれば介護保険料が減るのか、横ばいになるのかという検討がなされていない気がします。なので、もう少し進捗状況を話し合いながら、進めていくべきだと思います。
- 事務局 課題につきましては、第7期につきん高齢者ゆめプランを策定するにあたり、第6期につきん高齢者ゆめプランの進捗状況を評価していただき、そこで出た課題を計画の31から45ページに抽出しております。こういった課題を踏まえて、今回の計画の主要目標を設定しておりますので、今後はこの目標に沿って進めていけるように努力していきます。そして、第7期を評価できる指標を皆さんの意見をいただきながら、作っていきたいと考えております。
- 委員 この中で、「生きがいをもっていきいきと暮らせるまち」とありますが、高齢者に対してどのようなアクションを起こしていくのか、要介護認定を受けている高齢者が本当に適正な審査を受けているのか等、実のある計画を作っていくためには、もう少し高齢者の実態を知ることが大切だと思います。その上で、次回が2月開催というのは遅いと思います。
- 会長 課題については計画に記載されていますが、実態についてはいかがでしょうか。様々な立場の方に委員としてご出席いただいておりますので、それぞれの立場で何かご意見はありますか。
- 委員 介護保険制度ができて何年も経ちますが、介護相談員はまだ全ての人には知られてはいません。老人施設を訪問し、そこで生活されている人の様子を伺い、意見を聞いたり、働いているスタッフに生活している人の安全性等を見聞きしながら訪問していますが、認知症の人が多いため長時間の話はできず、話も本当かどうか分からないので、あとでスタッフに確認するなどしているのが現状です。施設の訪問も大事ですが、それぞれの家庭で介護している家族がかなり困ってるのではないかと思います。
- 会長 医療が必要な状態で自宅に戻り、家族が少ない中で、あるいは老人同士で介護し合わないといけないといった厳しい状況もあるかと思いますが、そのあたりの実態はどうでしょうか。
- 委員 老後生活を送っていると要介護度は進んでいくイメージがありますが、そうでない人がいたとすると、何をもってそうではなくなり、いつまでも健康でいられる要因は何なのかが見えてこないと、限りある財源で様々な事業をやっている中で、積極的に行うもののと、効果が薄いのでやめていくことの取捨選択をしていかないといけないと思います。何をするかも大切ですが、何をしないのかを考えることも必要だと思います。
- 会長 ありがとうございます。それでは続きまして、議事（3）「日進市の高齢者福祉の状況について」、議事（4）「につきん高齢者ゆめプランについて」の議論に移りたいと思いますので、事務局からあわせて説明をお願いします。
- 事務局 （第7期につきん高齢者ゆめプランについて説明）
（平成29年度介護保険事業の状況について資料2を使って説明）

会長 ありがとうございます。事務局の説明で、何かご質問やご意見がございませんか。

委員 計画だけでは現状が全く見えてきません。現実的にどうしていくかというときに、77ページに認知症初期集中支援チームを作るとありますが、本気で作る気があるのでしょうか。ぷらっとホームやほっとカフェといった事業を行ってはいますが、月に1、2回数時間という時間の中で、もっと市民を巻き込めないのかを考案し、更なる具体策を講じていかないといけないと思います。新しい計画はできたが、以前と同じ内容が出てきているということは、現状は良くなっているとは思えません。この場に参加させていただいている以上、自分の役割を果たし、税金が本当に生かされているのかをしっかりと検証していきたいと考えています。

会長 他にご意見はありますか。

委員 先日、認知症の人が施設から抜け出して探していた時に、なかなか見つからず警察に連絡したところ、いろんなところから情報が来ていました。事件にもならず無事でよかったのですが、そこで今までにはなかった市民の情報伝達の速さを肌で感じました。私も認知症キャラバン等の講座で啓発をしてきましたが、こういった市や市民が行っている事業が様々な形で集約され、効果として現れている部分もあると思います。また、基本目標の「いつまでも健康でいられるまちを目指します」とあり、これはこれでいいと思いますが、認知症や病気になってもいつまでもこの地域で暮らすことができるといった、負の意味の言葉を入れるのはどうでしょうか。もちろん予防することも大切ですが、認知症や病気になっても、日進市ではこういうことをしているので安心して暮らせますということを示していくことも必要なのではないでしょうか。そして、どこもそうですが、人が携わることなので、医療や福祉に携わっている人の教育も日進市でも必要だと思います。やらなければいけないことはたくさんあると思いますが、今年度はこれをやっていくといった、年度で強化する取り組みがあってもいいのではと思います。実行するのは人なので、市の職員がどれくらい柔軟に取り組んでくれるかによって、市民がこの計画にどれくらい目を向けてくれるのかが変わるのではないかと思います。

会長 ありがとうございました。それでは、事務局から「その他」ございますか。

事務局 （日進市中央福祉センターの見直しについて当日資料2を使って説明）

事務局 本日はたくさんのご意見ありがとうございました。次回の会議につきましては、2月に開催を予定しております。1ヶ月ほど前に開催通知を送付させていただきますので、よろしく願います。それでは、これで第1回高齢者福祉・介護保険事業運営協議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

（午後2時45分閉会）